

作成日 2014/01/30

改定日 2024/08/21

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：e-シート

製品番号：ES-600T

整理番号 (SDS NO): ES_003

製品種類：

本製品は成形品(シート)である。

本SDSでは混合物としての有害性を記載した。

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：防錆・防食・補修材・防水材

使用上の制限：推奨用途以外に使用しないこと

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：サンコーテクノ株式会社

住所：千葉県流山市西深井1028-14

担当部署：機能材本部

電話番号：04-7155-6300

FAX：04-7155-6322

緊急連絡先電話：04-7155-6300

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 1(呼吸器)

(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器)

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場

- 合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
- 貯蔵
 - 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 - 施錠して保管すること。
- 廃棄
 - 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
ビニルエステル	非公開	30 - 40	非公開
メタクリル酸エステル	非公開	30 - 40	非公開
アクリル系樹脂	74242-10-7	5 - 10	6-580
ガラス繊維	65997-17-3	25 - 35	-
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	< 1	2-1044
メタクリル酸メチル	80-62-6	< 0.2	2-1036
その他	非公開	< 1	非公開

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

重量%の通知により当社の利益を不当に害するおそれのあるものは、成分表にて含有量を幅表示にしています。

- 危険有害成分
- 安衛法「通知すべき有害物」該当成分
- メタクリル酸メチル，
- メタクリル酸2-ヒドロキシエチル(令和7年4月1日施行)

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

- 医学的な助言が必要なときには、このSDS、製品容器やラベルを持っていくこと。
- 吸入した場合
- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合
- 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
- 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
- 眼に入った場合
- 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- その後も洗浄を続けること。
- 眼をこすらせてはならない。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合
- 口をすすぐこと。
- 意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
- 徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
- 応急措置をする者の保護
- 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。

消火作業は、可能な限り風上から行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

(以下の処置は、作業工程で生じる粉じんや屑が漏出した場合に適用)

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

河川等に流出した場合は、管轄機関に連絡をする。

粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

粉じんの発生と堆積を防止する。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

強酸化性物質との接触を避けること。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

保管**安全な保管条件**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

上限保存温度 :50℃

(避けるべき保管条件)

直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置**管理指標**

管理濃度、濃度基準値データなし

許容濃度

(ガラス繊維)

日本産衛学会(2003) 1 fiber/ml

(メタクリル酸メチル)

日本産衛学会(2012) 2ppm; 8.3mg/m3

(ガラス繊維)

ACGIH(2001) TWA: 1f/cc(F) (皮膚及び粘膜刺激)

(メタクリル酸メチル)

ACGIH(2015) TWA: 50ppm;

STEL: 100ppm (上気道及び眼刺激; 体重影響; 肺水腫)

[ACGIH] 特記事項

(メタクリル酸メチル)

皮膚感作性

ばく露防止**設備対策**

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具**呼吸用保護具**

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム、ウレタン

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質**基本的な物理的及び化学的性質に関する情報**

物理状態: 固体 (シート)

色: 淡橙色

臭い: 特有臭

臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pHデータなし
動粘性率：適用外
溶解度：
 水に対する溶解度データなし
 溶媒に対する溶解度：エステル、ケトン、芳香族炭化水素に可溶
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度：1.0 - 1.2(25°C)
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

直射日光、50°C以上の高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解生成物

熱分解により以下の物質を生成する。

炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

rat LD50=5050mg/kg (SIDS, 2005; SIDS Dossier, 2005); rat LD50>4000mg/kg (SIDS Dossier, 2005)

(メタクリル酸メチル)

rat LD50=7800mg/kg (ACGIH 7th, 2015),

7900mg/kg, 8500mg/kg, 9400mg/kg (以上ECETOC JACC30, 1995)

急性毒性(経皮)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

rabbit LD50 >3000mg/kg (SIDS, 2005; DFGOT vol. 13, 1999)

(メタクリル酸メチル)

rabbit LD50 > 5000mg/kg (EU-RAR, 2002)

急性毒性(吸入)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

vapor: rat LC50=7093ppm/4hr (ECETOC JACC 30, 1995; EU-RAR, 2002; ACGIH 7th, 2015);

< 飽和蒸気圧濃度 (38614ppm) の90%

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

ヒト 刺激性 (EU-RAR, 2002);

ラビット 刺激性 (EU-RAR, 2002); EU CLP Skin Irrit. 2 (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ガラス繊維)

ヒト 一過性刺激性 (ACGIH, 7th, 2001; ATSDR, 2004; EHC 77, 1988)

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

ラビット 強い刺激性 (SIDS, 2005)

(メタクリル酸メチル)

ラビット 刺激性 (EU-RAR No.22, 2002; ACGIH 7th, 2015)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

cat. 1 (産衛学会, 2012)

皮膚感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

cat. 1; (SIDS, 2005; DFGOT vol. 13, 1999)

(メタクリル酸メチル)

cat. 1; (EU-RAR No.22, 2002; 産衛学会, 2012; EU CLP (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017))

生殖細胞変異原性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

発がん性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[IARC]

(ガラス繊維)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(メタクリル酸メチル)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(ガラス繊維)

A3(2001): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(メタクリル酸メチル)

A4(2015): ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ

[成分データ]

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(ガラス繊維)

気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

麻酔作用 (ECETOC JACC30, 1995; EU-RAR, 2002; NITE初期リスク評価書, 2008)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ガラス繊維)

呼吸器 (ACGIH 7th, 2001; ATSDR, 2004)

誤えん有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) EC50 (速度法)=710mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2017);

魚類 (メダカ) LC50>100mg/L/96hr;

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=380mg/L/48hr (ともに環境省生態影響試験, 2017; OECD SIDS, 2001)

(メタクリル酸メチル)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=48mg/L/48hr (EURAR, 2002)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC (繁殖阻害)=24mg/21days (環境省生態影響試験, 2017)

(メタクリル酸メチル)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC (繁殖阻害)=3.5mg/L/21days (環境省生態影響試験, 2017);

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC (速度法)= 86mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2017)

水溶解度

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

100g/100mL (PHYSPROP_DB, 2008)

(メタクリル酸メチル)

1.6g/100mL (20°C) (ICSC, 2003)

残留性・分解性

[成分データ]

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

急速分解性あり (BODによる分解度 : 95% (化審法DB, 1989))

(メタクリル酸メチル)

BODによる分解度 : 94.3% (化審法DB, 1976)

生体蓄積性

[成分データ]

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

Log Kow=0.47 (SRC PHYSPROP DB, 2017)

(メタクリル酸メチル)

log Pow=1.38 (PHYSPROP DB, 2005); Log Kow=1.38 (20°C) (環境省環境リスク評価 第11巻, 2013)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 該当しない

正式輸送名 : 該当しない

分類または区分 : 該当しない

容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 該当しない

正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

本品はバルク輸送されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称通知危険/有害物
メタクリル酸メチル(別表第9の557);
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル(令和7年4月1日施行)

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

労働基準法

疾病化学物質(規則別表第1の2第4号1)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル; メタクリル酸メチル
感作性 [厚労省局長通達]
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル; メタクリル酸メチル

消防法

指定可燃物
合成樹脂類_その他のもの(酸素指数 26未満のもの)(数量 3,000kg)

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

大気汚染防止法

揮発性有機化合物(VOC) 法第2条第4項
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル
メタクリル酸メチル
有害大気汚染物質
メタクリル酸メチル(中環審第9次答申の229)

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)

IATA 航空危険物規則書 第65版 (2024年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。